

「多様な森林づくりの見える化プロジェクト」 現地検討会を実施

令和3年7月12～13日、学識経験者である九州大学溝上展也教授と森林総合研究所九州支所山川博美主任研究員を招いて、大分県庁からご参加いただき、現地検討会を開催しました。

初日は、大分森林管理署において、局署の担当者よりこれまでの経緯や取組を説明、本プロジェクトエリア内のゾーニングや今後の各施業の試行予定地等の提案を行い、有識者の方々や大分県からのアドバイスや課題・意見等をいただきながら意見交換を行いました。

翌日は、豊後大野市の現地（熊ヶ谷国有林 2049・2048 林班）において、「天然力を活かした針広混交林を目指す択伐試行予定地」と「面的複層伐による試行予定地」の伐区設定や伐採方法、路網位置や作設方法、更新方法やシカ被害対策等について意見交換を行いました。

今後、このような現地検討会を踏まえて有識者の方々や大分県のご協力を得ながら、局署一体となって取組を進めて参ります。



大分森林管理署で行われた意見交換の様子



天然力を活用した針広混交林を目指す択伐試行予定地での様子



面的複層伐の試行予定地において、航空写真を使った現地説明の様子